

## (11)九州



九州地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ 鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。
- ・ 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す( \_ は上方に変更、 \_ は下方に変更)。

### 前回からの主要変更点

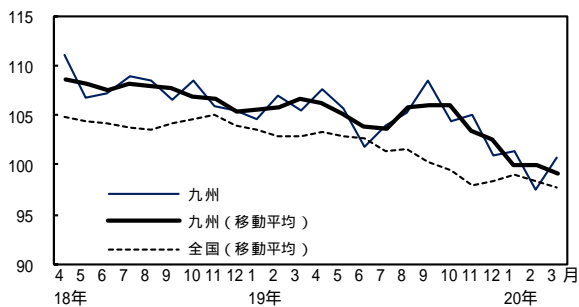
|       | 前回(令和2年3月)   | 今回(令和2年5月)                               |
|-------|--|--|
| 景況判断  | 足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある |
| 鉱工業生産 | 弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる                        | 新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している                |
| 個人消費  | 足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる               | 新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している             |
| 雇用情勢  | 改善   | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している              |

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。

1 - 3月期には、電子部品・デバイスは、トランジスタ等が増加した。輸送機械は、普通乗用車等が減少した。食料品は、減少した。汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置等が減少した。化学・石油石炭製品は、減少した。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

|              | 付加価値ウェイト | 生産        |         |      |      |      |
|--------------|----------|-----------|---------|------|------|------|
|              |          | 10 - 12月期 | 1 - 3月期 | 1月   | 2月   | 3月   |
| 電子部品・デバイス    | 13.6     | 6.4       | 5.8     | 7.4  | 4.7  | 35.5 |
| 輸送機械         | 13.5     | 1.0       | 8.0     | 4.8  | 11.9 | 3.1  |
| 食料品          | 12.2     | 2.3       | 0.5     | 1.3  | 3.6  | 0.3  |
| 汎用・生産用・業務用機械 | 12.2     | 3.9       | 13.4    | 10.6 | 9.1  | 12.2 |
| 化学・石油石炭製品    | 10.0     | 3.5       | 4.0     | 1.6  | 11.8 | 5.6  |
| 鉱工業          | 100.0    | 2.3       | 3.5     | 0.4  | 3.7  | 3.2  |

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 1 - 3月期、3月は速報値。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。九州の最新月は速報値。

2. 全国及び九州の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

## 2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

(1) 地域別消費総合指数(RDEI(消費))

1月は前月比0.0%減、2月は同1.3%減、3月は同0.8%減となった。

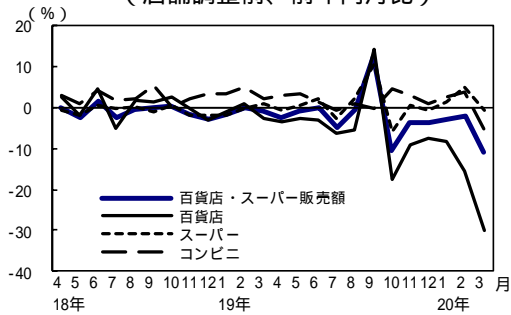
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。2月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。3月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。

スーパーは、1 - 3月期は、飲食料品が増加したことにより、前年を上回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。

百貨店・スーパー販売額等  
(店舗調整前、前年同月比)



|              | 2020年1-3月 | 2020年1月 | 2月   | 3月   |
|--------------|-----------|---------|------|------|
| RDEI(消費*1)   | 0.9       | 0.0     | 1.3  | 0.8  |
| 百貨店・スーパー(*2) | 5.5       | 2.9     | 2.3  | 11.0 |
| 百貨店(*3)      | 18.1      | 8.4     | 15.6 | 30.1 |
| スーパー(*3)     | 1.7       | 1.1     | 5.0  | 0.7  |
| コンビニ(*3)     | 0.0       | 2.3     | 3.5  | 5.5  |
| 乗用車(*4)      | 12.6      | 14.1    | 12.9 | 11.4 |
| (季節調整値)(*4)  | 0.4       | 0.2     | 1.2  | 0.6  |

(備考) 1. 季節調整前(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

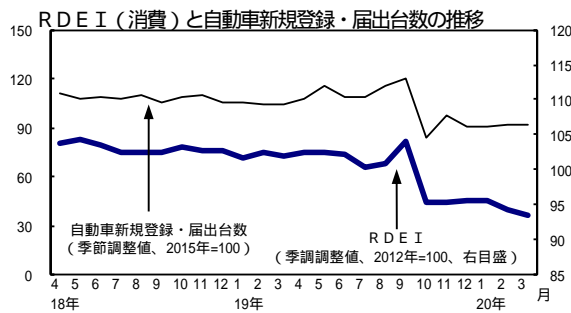
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店、スーパーは沖縄を含む経済産業省の九州の値。

コンビニは、経済産業省の九州・沖縄の値。

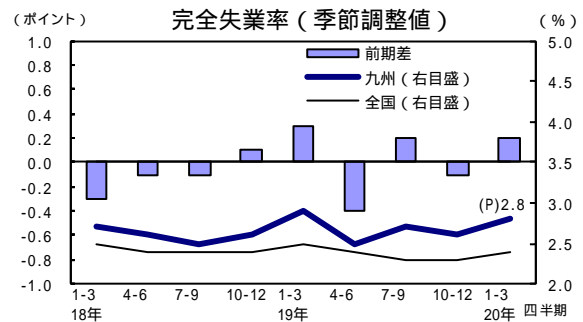
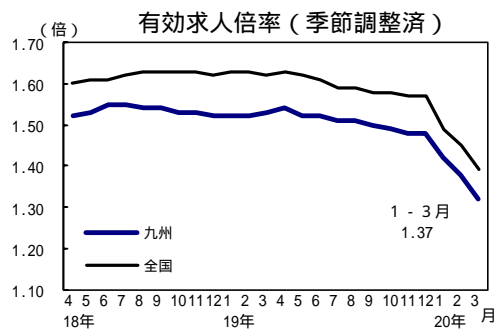
4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 内閣府にて季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年4月調査) 景気判断理由の概要

11. 九州

( 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪 )

| 分野         | 判断 | 判断の理由  |
|------------|----|--|
| 現状         | ×  | ・新型コロナウイルスの影響で、イベント開催等は全て中止になっている。商談中の客も状況見合せになり危惧している (住宅販売会社)  |
|            |    | ・例年、3～5月に病院からの退院増加に伴い、客が増加傾向となるが、今年は新型コロナウイルスの影響で退院がずれ込み、客からのサービス辞退やキャンセルが相次ぎ、前年実績を下回る結果となっている (その他サービスの動向を把握できる者 [介護サービス])  |
|            |    | ・来店客数は、チラシを入れない状態で前年比 95% で推移している。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、まとめ買いが増えており、客単価は 100 円上がっている。また、買上点数も 1.2 個分上がり前年比 102% で推移している (スーパー)  |
|            | ×  | ・旅館や飲食店の需要が激減している (食料品製造業)   |
| 企業動向関連     | ×  | ・3月までは順調な流れであったが、3月後半～4月に掛け、非常に厳しい状態になり、3～4割の納品となっている。全体の売上が、計画の70%を維持できるか危惧している。このような状態はリーマンショック時にもなく、大変困惑している (農林水産業)  |
|            |    | ・受注状況に変わりがない (電気機械器具製造業)   |
| 雇用関連       | ×  | ・5～6月末での派遣終了が増加している。新規の派遣依頼は、キャンセルも含め見直しも出ている (人材派遣会社)   |
| その他の特徴コメント |    | : 新型コロナウイルスで騒がれている状況であるが、花を自宅に飾ったり、開店祝いのお花であったりなど予想外の注文があり、数か月前よりとても良い状態になっている (一般小売店 [生花])<br>× : 新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる一方である。全国では、工事の中止が多くなっている。当地では、工事中止はないが、同業者も不安を隠さない。当社から新型コロナウイルスを出さないように、マスクや消毒剤等の支給も実施しており、工事を止まることに懸念している (建設業) |
| 分野         | 判断 | 判断の理由  |
| 先行き        | ×  | ・新型コロナウイルスの影響で、かなりの経済的打撃がある (乗用車販売店)   |
|            |    | ・長引けば、生き残ることが難しくなり、新型コロナウイルスが終息することを望んでいる (商店街)  |
| 企業動向関連     | ×  | ・緊急事態宣言の解除次第となるが、当初予定どおりの運営は、難しいと判断している (金属製品製造業)  |
|            |    | ・新型コロナウイルスが終息しないことには、今の状況が変わるとは考えられないため、かなり厳しい状況である。2か月程度で落ち着くことを望んでいる (経営コンサルタント)   |
| 雇用関連       | ×  | ・緊急事態宣言等により、企業活動を縮小せざるを得ない状況が続いており、今後の見通しも不明である (職業安定所)  |
| その他の特徴コメント |    | × : 日本で新型コロナウイルスが終息に向かっても、諸外国も同時に終息しない限り、先行き不透明な状況が続く。そのため、国内観光業の消費者支出が予測できない (旅行代理店)<br>× : 現時点では、客からの生産計画で当初の計画と比較すると、4割減の影響が予測されている (輸送用機械器具製造業)  |

(DI) 現状・先行き判断DI (九州) の推移 (季節調整値)

